

各位

TOTOKU

東京特殊電線株式会社
 京都港区新橋6丁目1番11号
 (東証1部 コード番号 5807)
 問合せ先 総務・広報担当
 TEL 03(5860)2121

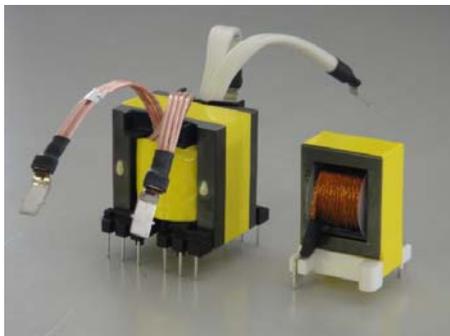
エネルギー効率と高周波特性に優れた 低損失トランス及び低損失コイルの販売を開始

東京特殊電線株式会社（本社：東京都港区、社長：立川直臣）は、サーバー、ハイブリッド車及び電気自動車、省電力を実現するスマートハウスならびに各種電源用として、エネルギー効率と高周波特性優れた『低損失トランス』と『低損失コイル』の販売を開始致しました。

『低損失トランス』と『低損失コイル』の特長は下記の通りです。

有限である化石燃料への対策として、従来より「節電」は重要なテーマでした。東日本大震災以降の電力不足においては原子力発電所の是非を問われるなど、単なる「節電」から、電力消費を抑えながらいかに機能向上を図るかがテーマとなり、生活に欠くことの出来ない電気機器にもエネルギー効率の向上、つまりエネルギーの損失低減が求められています。

この度当社が販売開始した『低損失トランス』と『低損失コイル』は、単線による巻線と比較して高周波特性の優れた自社開発の特殊線（編組線^(注1)、三層絶縁電線）を使用し、“低損失”という付加価値を具現化しています。サーバーなど各種の情報機器、ハイブリッド車及び電気自動車、スマートハウスの電源に欠く事の出来ない基本部品であるトランス、コイルの高周波特性ならびにエネルギー効率を向上した事により、機能を向上しつつ消費電力の低減を実現しました。サーバー分野では当社低損失トランスを用いることにより 80PLUS^(注2) でプラチナを取得することに貢献出来ました。（電源効率 94%以上）。



・編組線と三層絶縁電線を使用した『低損失電源トランス』(左)
 ・編組線によるエッジワイズコイルを使用した『低損失チヨークコイル』(右)



・三層絶縁電線を使用した『低損失電源トランス』

その他の特長

- 強化絶縁電線の三層絶縁電線の使用により、バリヤ、層間テープ、絶縁チューブなどの絶縁材を省けるので、同等クラスのトランスより小さなサイズでトランスの提供を可能としました。
- エッジワイズコイル（編組線）は自社開発した専用巻線機を使用し作製しています。
編組線を使用したエッジワイズコイル^(注3)は当社独自の製品です（特許出願中）。

(注1) 編組線：エナメル線を袋帯状に編んだ絶縁電線

(注2) 80PLUS プログラムが推進する電機機器の省電力化プログラム

(注3) エッジワイズコイル：線材を縦方向に巻いたコイル

以上

本資料についてのお問い合わせ	総務・広報担当	TEL 03 (5860) 2121
お客さまからの製品に関するお問い合わせ先	ワイヤー・デバイス営業課	TEL 03 (5860) 2129